

マーケットの動き（2022年8月29日～9月2日）

先週の米国株式市場は、前週末比で下落しました。

前週末のFRB（米国連邦準備制度理事会）パウエル議長の講演を受け、金融引き締め長期化観測が改めて強まる中、FRB高官による金融引き締めに前向きな発言が相次いだことで米国株式は下落基調で推移しました。発表された主要経済指標の結果を受けて、米国長期金利が上昇したことも下落要因となりました。

欧州市場もおおむね米国に連動した推移となりました。

投資環境見通し（2022年9月）

外国株式相場は調整圧力が続く

企業業績については、金融引き締めの加速やインフレ見通しによる下振れの可能性は続くとみています。軟調な実体経済に加え、主要中央銀行による利上げなど、外国株式相場にとって調整圧力がかかりやすい状況が続くと予想しています。ただし、今後は米国ではインフレ率がピークアウトとの見方が台頭する可能性もあり、下値を拾う動きも出やすいとみています。

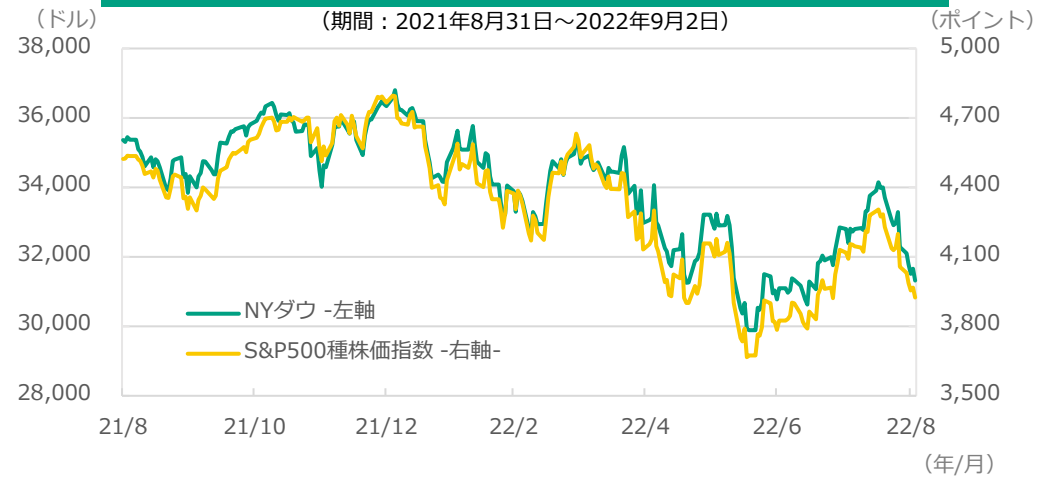
	9月2日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	3,924.26	▲3.29%	▲4.08%	▲10.54%	▲13.50%
NYダウ	31,318.44	▲2.99%	▲3.33%	▲7.59%	▲11.64%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

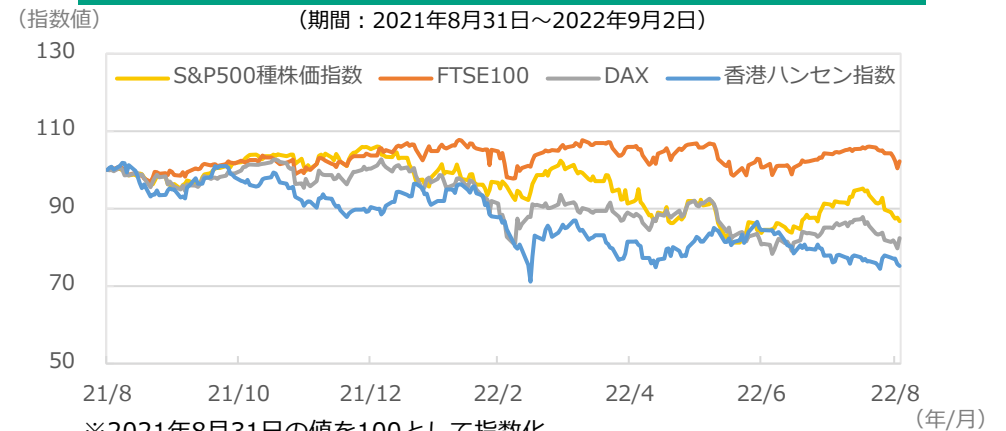
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202209_outlook.pdf

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>